

第 25 回バクー日本語弁論大会

出場者募集要項

(応募締切：2026 年 11 月 2 日 (月))

バクー国立大学主催、在アゼルバイジャン日本国大使館協力による、第 25 回日本語弁論大会の出場者を募集します。大会への応募受付及び出場者の選考は、以下の要領に従って実施します。日本語を学んでいる皆様には、この機会にぜひ日頃の学習成果を披露していただきたいと思います。

開催日：2026 年 11 月 28 日 (土)

時間：12：00～15：30

会場：バクー国立大学

※詳細な会場については、後日お知らせします。

主催：バクー国立大学

協力：在アゼルバイジャン日本国大使館

参加資格

▶ 「学生」部門

- ① 現在、大学又は主催者が認めるその他の教育機関において、日本語を学んでいる学士課程の学生（日本語専攻である必要はありません）。
- ② 日本語を母語とせず、日本での通算滞在期間が 90 日を超えない方。

※ 日本での通算滞在期間が 90 日を超える方についても、主催者が定める特別な条件の下で発表が認められる場合があります。ただし、その場合は審査対象外での参加となります。

- ③ 過去のバクー日本語弁論大会で優勝したことがない方（過去の優勝者は参加できません）。

▶ 「一般」部門

- ① 上記「学生」部門の対象となる学士課程の学生以外のすべての方（年齢制限はありません）。

※「一般」部門の出場者は、審査対象外での参加となりますので、あらかじめご了承ください。

出場者の選考

定員は「一般」部門が最大 5 名、「学生」部門が最大 15 名（バクー国立大学 6 名、アゼルバイジャン言語大学 6 名、その他の学生 3 名）です。

これに基づき、運営委員会が出場者を選考します。選考は、応募時に提出された「応募用紙」及びスピーチ原稿を基にバクー国立大学が行い、選考を通過した方には、11 月 2 日までにバクー国立大学から連絡します。

応募方法

■ 提出書類

- ② 「応募用紙」
- ③ 「学生」部門：学生証の写し／「一般」部門：身分証明書の写し
- ④ スピーチ原稿（日本語）
- ⑤ スピーチ原稿（アゼルバイジャン語） ※日本語とアゼルバイジャン語の原稿は、それぞれ別のファイルで提出してください。

スピーチ原稿ファイルの書式：

- ▶ 用紙の余白は標準設定（[レイアウト] → [余白] → [標準]）
- ▶ フォント：Times New Roman
- ▶ フォントサイズ：12 ポイント
- ▶ ファイル名は「ファイルの種類」「応募者氏名」「所属機関」が分かる形式にしてください。
※例（日本語のスピーチ原稿の場合）：Speech text_jp_Surname-Name_Keio University

■ 応募締切：11 月 2 日（月）

- **応募方法：**上記の書類を添付し、バクー国立大学の bdubenrontaikai@gmail.com メールアドレス及び CC にてアゼルバイジャン日本国大使館のメールアドレス culture-info@bk.mofa.go.jp 宛てに送信してください。メールの件名には、必ず「**第 25 回バクー日本語弁論大会への応募（氏名）**」と記載してください。

注：メールの容量が 10MB を超えないよう、ご確認をお願いいたします。10MB を超える場合は、メールを 2 通に分けて、分割して送信していただきますようお願いいたします。

大会について

■ テーマ

- ・ **自由**（政治的・宗教的な宣伝、差別、ヘイトスピーチ、暴力の助長、個人の名誉や尊厳を傷つける内容は除きます。）

- **発表時間：**5 分。5 分 30 秒を超えた場合、超過 1 秒ごとに 1 点を減点します。7 分に達した時点で発表を終了していただきます。5 分に満たない場合は減点されません。

- **発表時の補助資料：**ジェスチャー、写真、ポスター等は使用できます。ただし、PowerPoint によるプレゼンテーション、音楽、動画の使用は認められません。

- **質疑応答：**質問を理解できない場合は、アゼルバイジャン語に翻訳して再度質問します。ただし、回答は必ず日本語で行ってください。

■ 審査基準：

- ・ テーマ設定及び提案する課題への理解：解決を提案する問題や課題が明確に示されているか、解決策に独自性があるか。
- ・ 提案の内容：提案内容が明確かつ独創的であり、論理的であるか（解決策についての考え方や改善計画の効果など）。
- ・ 発表力：スピーチが分かりやすいか、表現力があるか（イントネーションや発表時の態度など）。
- ・ 質疑応答：回答時の発音が明瞭であり、論理的であるか。